

科目名称：	医事コンピュータ演習	
担当者名：	石堂みゆき	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>患者様は、医療機関の窓口で「保険証」を提示すれば保険診療を受けることが出来、医療機関においては、保険診療の拡充とともに、患者様を診察する際に付随してくる受付、診療費の計算という特殊で膨大な量の事務処理作業が必要となります。この膨大な作業の効率化、また管理の為、医療界においては、コンピュータの導入が必須化され、医療事務技能者として、知識・技能、更に、医事コンピュータの知識、操作技能を身に付けている者が必要とされます。医事コンピュータのオペレーションをマスターする事で、治療代の計算がスムーズに入力できるレベルまで到達できるような人材を育成します。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>全員がメディカルオペレーター認定試験に合格できることを目標とし、きめ細やかな演習を行います。</p>		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	○
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)	70			30	100
ビジネスDP (3)					0
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 医療事務点検業務・受付	《経験年数1》 12年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション、外来診療の流れを理解する。医事システムについてディスカッションを行う。	このシラバスを精読し、医事コンピュータについて考えておくこと	10分
第2回 外来患者の患者登録(患者情報)入力練習を行なう。	授業で学習した内容(外来患者の流れ)を復習すること	10分
第3回 外来患者の病名入力練習を行なう。	授業で学習した内容(外来患者の患者登録)を復習すること	10分
第4回 外来患者の診療内容を入力し、会計画面で確認する。	授業で学習した内容(病名入力)を復習すること	10分
第5回 患者登録(患者情報)、病名入力を行なう。	授業で学習した内容(診療内容を入力)を復習すること	10分
第6回 外来患者の診療内容を入力し、会計画面で確認する。	授業で学習した内容(患者情報、病名入力)を復習すること	10分
第7回 患者登録(患者情報)、病名入力、入退院処理(入院、退院、外泊、欠食、食事数、等)入力を行なう。	授業で学習した内容(診療内容を入力)を復習すること	10分
第8回 入院患者の診療内容を入力し、会計画面で確認する。退院処理を行なう。	授業で学習した内容(患者情報、病名入力、入退院処理)を復習すること	10分
第9回 外来患者の診療入力個別練習。	授業で学習した内容(入院患者の診療内容入力・退院処理)を復習すること	10分
第10回 入院患者の診療入力個別練習。	授業で学習した内容(外来患者の診療入力)を復習すること	10分
第11回 外来・入院患者の診療入力個別練習。	授業で学習した内容(入院患者の診療入力)を復習すること	10分
第12回 公費負担医療患者の入力	授業で学習した内容(外来・入院患者の診療入力)を復習すること	10分
第13回 診療入力の自己練習	授業で学習した内容(診療入力)を復習すること	10分
第14回 診療入力の自己練習	授業で学習した内容(診察入力)を復習すること	10分
第15回 診療入力の自己練習	授業で学習した内容(診察入力)を復習すること	10分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、復習した内容を資料にまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、70%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業への貢献、授業への積極的関与 30%、出席を前提とし、欠席は授業への積極的関与がないものと判断する。

課題に対するフィードバック

授業中使用プリントは評価し返却する。

教科書・参考書

教科書： PCテキスト、PCオペマニュアル(NEC用)
著者：(株)ニチイ学館 出版：(株)東京丸の内出版
参考書： 問題集-PC認定問題集